

MAKE AN INTERNATIONAL CONTRIBUTION

国際貢献をしてみよう



今回の記事では、名大祭期間中の6月3・4日に来店した**ミニ平和資料館&カフェ**の様子を中心に、先日被災した**ジャワ島地震**のことなどについてお伝えします。

名大祭～フェアトレード商品～

6月3・4日に、ユニセフ班は文系総合館のE演習室にて名古屋大学平和憲章の方々と協力してミニ平和資料館&カフェを開きました。

名大祭期間中に販売したフェアトレード商品(※1)について、人気商品をランキングにしてみました(右側参照)。

ランキング上位がクッキー、かりんとうなどのお菓子で占められていることが示すように、お菓子の人気は圧倒的です。

数年前は、カレーや珈琲などいかにもフェアトレード商品というものに人気が集まっていましたが、買いやすい値段の商品にシフトしてきています。お菓子のように手頃な値段で買える物にシフトしてきているのは(仕入れの個数影響もあるかも知れませんが)買う人の層が広がってきているからではないでしょうか。

また、今回は上位に出てきていませんが、前回のウィンターフェアの時はチョコレートも人気がありました。

フェアトレード商品を何から買ったらいいかかわらないという人は参考にしてみてください。



フェアトレード商品 人気ランキング

(名大祭での売り上げ個数より)

- 1位** クッキー (レモン) ￥294円
- 2位** クッキー (プレーン) ￥294円
- 3位** かりんとう ￥294円
黒糖くるみ ￥493円
- 4位** ヒマラヤンワールド紅茶 ￥399円
- 5位** ギロ(楽器) ￥945円
小銭入れ ￥600円

(※1) **フェアトレード商品**: 労働者に過酷な条件下で労働させたり、不当な賃金で働かせたりすることのない環境で生産されていることが保障された商品。

名大祭～平和資料館・カフェ～

名大祭期間中に私たちが行ったカフェでは、フェアトレード商品の販売の他にも、やユニセフカードの販売と、先日起きたジャワ島地震の被災者のための緊急募金などを行いました。

また、ミニ平和資料館では、3月に名古屋大学平和憲章委員会主催で行われた豊川砲兵工廠(豊川海軍工廠)(※2)についての資料と、ユニセフ班員が作成したフェアトレードについての資料の展示が行われ、来場してくださった方々は熱心に資料を見てくださいました。

※2 豊川砲兵工廠:名古屋大学豊川キャンパスの敷地内にある機銃・弾薬生産工場(跡)。1945年8月7日の空襲で約2700人(多くが学徒動員で働かされていた中学生)が亡くなりました。

コラム ～ジャワ島地震～

5月27日、インドネシアのジャワ島でマグニチュード6を超える地震が発生しました。地震の被害状況(5月29日現在)は死亡者数約5000人、負傷者数1万5000人、避難民推計13万人以上となっています(日本ユニセフ協会Websiteより)。

生協の店舗にジャワ島地震の援助のための募金箱が置いてあるので、地震に心痛められた方はご協力お願いします。集められた募金は、日本ユニセフ協会にジャワ島地震緊急募金として送金します。

2日間で非常に多くの方に来場していただき、フェアトレード商品とカフェの売上は41,753円、ユニセフカードの売り上げは5,110円となりました。ご協力ありがとうございました。

また、ユニセフの募金として437円、ジャワ島の緊急募金として5,396円の協力を集めることができました。フェアトレード商品とカフェの売り上げは仕入先(フェアトレードショップ風's)への代金として払い込み、ユニセフカードと募金は種類ごとに区別してユニセフに送られ、ユニセフの活動に役立てられます。

※この記事に使われている写真は名大祭のカフェ&ミニ平和資料館で撮影されたものです。



あとがき

文系総合館E演習室という少々わかりにくい場所だったにも関わらず、多くの方に訪れていただいたことは、それだけフェアトレードやユニセフの活動、平和活動などに興味がある方が多いということではないでしょうか。今後も多くの人にフェアトレードやユニセフの活動のことを伝えたり、自分たちの知識を深めたりする活動に取り組んでいきたいと思えます。

文責: ユニセフ班広報部